

老後に不安！ ご存じですか？今の介護保険



**「介護の社会化」を掲げてスタートした介護保険
しかし「保険あって介護なし」の現実！！**

利用料などの負担が重荷

- かった費用の1割を利用料として負担。その支払いが困難で利用を減らす人も。さらに所得に応じて2割負担、3割負担を新たに導入
- 特養などの施設では部屋代と食費が全額負担

サービスの削減 次々と

- 要支援者の訪問介護とデイサービスを、費用を抑えた「総合事業」に移し替え
- ヘルパーの生活援助の利用回数を制限

特養の入所対象を原則 要介護3以上に

- 病気、家族の事情で自宅では暮らせない軽度の人が入所が困難に

**要介護1、2は
基本お断り**

減らない介護離職

- この数年間 毎年10万人前後が家族の介護を理由に退職。日本経済にとっても大きな損失

事業所も 働く人も 大変

- 介護報酬の引き下げで、相次ぐ事業所の倒産・廃業

介護事業所の倒産件数「東京商エリサーチ調べ」

- 深刻化する人手不足
- 低くすえおかれた介護職員の給与

介護職	27万4,000円
全産業平均	36万6,000円

全産業平均より9万2000円も低い！

厚労省資料より

「利用出来ない、利用させない介護保険」 一方で 介護保険料は右肩あがり

基準額の全国平均は、現在月5869円で制度開始時の2倍（2000年＝2911円）。このままいけば、2025年は7000円を超える見込み。

介護保険料の支払いはもう限界！

2000 2003 2006 2009 2012 2015 2018

2倍!!

政府は、利用者・介護現場の困難を放置したままサービスをさらに削り、負担を引き上げる改悪を準備しています（来年の国会に改悪法案提出）

ケアプランの有料化

ケアプランの作成やケアプランに基づく介護サービス管理に自己負担を新たに導入。毎月の支払いが増える。実施されれば、ケアプランの料金が追加になったため利用しているサービスを減らさざる得ない人、さらには介護保険そのものを利用出来ない人も。「保険あって介護なし」をさらに拡大する大改悪！

軽度者(要介護1,2)の訪問介護、デイサービスを「総合事業」へ移し替え

実施されれば、自宅での生活が困難に。家族の介護負担も増大！

施設多床室の部屋代を老人保健施設などでも徴収

消費税を上げなくても、介護・社会保障は充実できます！

「消費税を引き上げて社会保障を充実」はデタラメ
消費税収は企業の法人税の引き下げ分の穴埋めに！

★ 税金の「集め方」「使い方」を変えればOK



- 1 大企業優遇税制を是正し、中小企業並の負担を求める
- 2 富裕層優遇税制を是正する
- 3 思いやり予算などの廃止

★ 署名へのご協力をお願いします

- ① ケアプランの有料化、要介護1、2の生活援助の削減など、サービスの抑制や負担増につながる制度の見直しをいっさい行わないこと
- ② すべての介護従事者の賃金を大幅に引き上げ、労働条件を抜本的に改善すること。実効性のある確保対策を講じること
- ③ 介護保険料、利用料負担の軽減を図ること。必要な時に必要なサービスを受けられるよう、制度の改善をはかること
- ④ 介護保険財政に対する国の負担割合を大幅に引き上げること。そのための財源を国の責任で確保すること